

保護者の皆様

西東京市立栄小学校
校長 中村千佳子

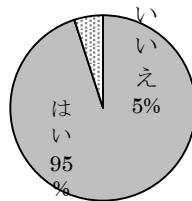
学校教育に対するアンケートの結果について

保護者の皆様には、日頃より栄小学校の学校経営方針をご理解・ご協働いただきましてありがとうございます。今年度は、学校経営方針に沿って、10月と2月の2回、児童・保護者・教職員の3者アンケートを実施しました。結果と考察をご報告します。ここに見えるのは児童の姿の一部ではありますが、確かな成果が見て取れます。皆様と共に成果を確かめ、また課題に向き合ってまいりたいと思います。

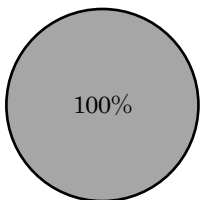
経営方針1 学力の基礎基本の定着を図る

経営目標1 漢字・計算ドリルやプリントを活用して、算数の知識と技能の定着を図る。

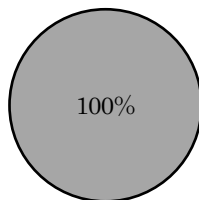
職員の自己評価；漢字・計算ドリルやプリントを毎週活用した職員の割合



児童の自己評価；「学習内容はよくわかる」と回答した児童が80%以上いる学級

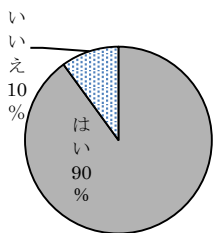


保護者アンケート；「お子様は基礎的な学習を理解している」と回答した保護者が80%以上いる学級

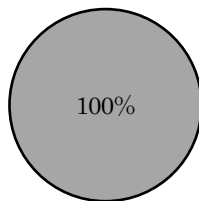


経営目標2 学習展開モデルに基づいた授業を行い、めあてと振り返りを取り入れ、「思考力・判断力・表現力」を身に付けさせる。

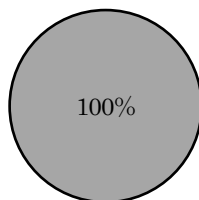
職員の自己評価；学習展開モデルを意識した授業を一週間に1回以上実施した職員の割合



児童の自己評価；授業中進んで考えていると回答した児童が80%以上いる学級

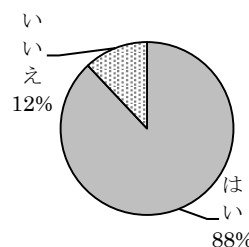


保護者アンケート；「お子様は意欲的に学習に取り組んでいる」と回答した保護者が80%以上いる学級

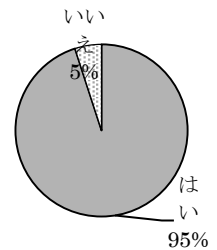


経営目標3 読書指導を充実する。

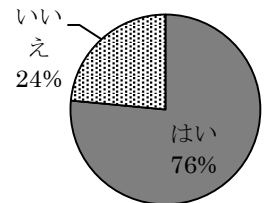
職員の自己評価；本に興味をもつような働きかけを1週間に1回以上実施した職員の割合



児童の自己評価；「学校で進んで読書をしている」と回答した児童が70%以上いる学級



保護者アンケート；「お子様は進んで読書をしている」と回答した保護者が80%以上いる学級



経営目標1；漢字ドリルや計算ドリル、プリントを繰り返し活用しながら基礎・基本の充実を図るものです。本校では特に算数プリントを活用しています。

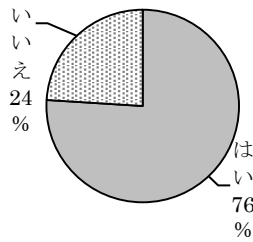
経営目標2；学習スタンダード・学習展開モデルは本校独自の授業の約束と形です。学習展開モデルは「めあての表示→課題把握→自力解決→対話・交流→まとめ・振り返り」の順で授業を展開することを指します。

経営目標3；経営目標3の評価を見ると、児童の読書に対する意識が高く、進んで読書に取り組んでいることがわかります。読書は、言語能力だけでなく、他人の気持ちを推し量る等、人として大切な能力も育みます。本校では「本を読みなさい」ではなく、一緒に読書をしたり、読み聞かせをしたりすることを大切にしています。図書委員会が中心となって年2回の読書旬間の充実にも取り組んでいます。地域センターや、「もぐらの会」にも連携をお願いしています。ご家庭においても、「本」に目を向けるような声掛けをしていただいていることが結果からわかります。ご協力ありがとうございます。

経営目標 4 授業の中に対話的な場面を設定して、「話す力」「聞く力」を育成する。

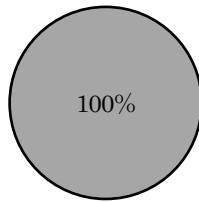
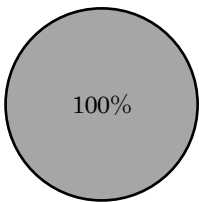
職員の自己評価：

対話的な学習場面を、毎日授業の中に取り入れていると回答した職員の割合



児童の自己評価：「話し合いの場面で、めあてに気を付けて話している」と回答した児童が70%以上いる学級

保護者アンケート：「お子様は話したり聞いたりする力が伸びた」と感じている保護者が80%以上いる学級



〈研究主任より〉

栄小学校は、2年間に渡り、「カリキュラム・マネジメントを通じた授業改善」を国語科「話す力・聞く力の育成」を切り口にして取り組んできました。昨年度重点的に取り組んだ国語科の「話す力・聞く力」を基に、今年度は「話すこと・聞くこと」を軸とした年間のカリキュラムを意識し、国語科以外の教科や行事、日常活動と関連づけ、指導方法を検討し、実践してきました。

教師がカリキュラムを意識して指導を続けることで、児童も「話すこと・聞くこと」を常に意識して学習に取り組むことができました。系統的な指導や、教員が話し方のモデルとなって児童に示すなど、言語活動の充実を図ってきました。どの教科でも、意図的に話し合い活動を行った成果が児童の自己評価にもあらわれています。

また、地域の人材を活用した授業を年間の指導計画に位置付け、国語科等で学んだ「話す力・聞く力」を効果的に発揮できる場面を設けたり、タブレットで児童が自分の話し方を客観的に振り返り、発表練習に活かしたりできるようにしました。

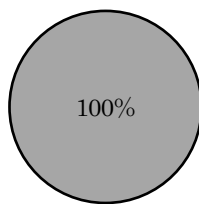
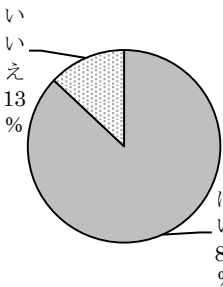
この2年間の研究で、子供たちの力が大きく伸びました。ご家庭でのご協力にも感謝申し上げます。ありがとうございました。

経営方針 2 豊かな人間性を育成する

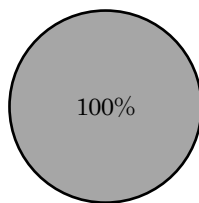
経営目標 5 自己選択、自己決定ができるように指導し、自立心と自律心を育成する。

職員の自己評価：1週間に1回以上、思いやりや善悪の判断に基づいて行動するよう指導した職員の割合

児童の自己評価：自分のことは自分で言い、友達と協力していると回答した児童が80%以上いる学級



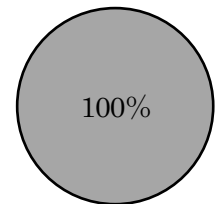
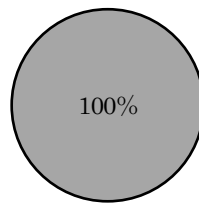
保護者アンケート：「お子様は自分のことは自分で言い、友達と協力している」と回答した保護者が80%以上いる学級



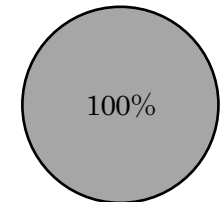
経営目標 6 児童に肯定的な評価を行い自己肯定感及び自尊感情を育成する。

職員の自己評価：児童の行動や成果物に対して肯定的な評価を一日に5人以上実施していると回答した職員の割合

児童の自己評価：自分にはよいところがあると回答した児童が70%以上いる学級



保護者アンケート：「ご家庭でお子様のよいところを話題にしている」と回答した保護者が80%以上いる学級



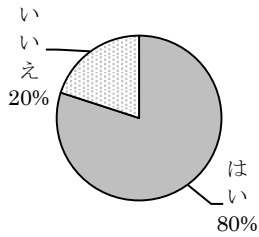
経営目標 4・5；職員はこの1年間「話す力・聞く力」の育成を意識して教育活動を行ってきました。その成果が表れ、10月に比べると児童・保護者の評価が大幅に上がりました。子供たち自身がめあてを意識して学習に取り組んでいることが分かります。友達と協力していると答えた児童・保護者の割合も100%でした。

経営目標 6；自己肯定感があることで、学校や家庭での様子が落ち着いていることが分かります。ご家庭でもお子さんのよいところを話題にいただいていることが効果を上げています。ご協力ありがとうございます。

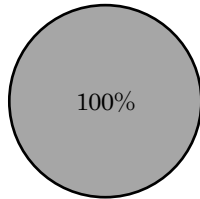
経営方針3 体力の向上を目指す

経営目標7 持久走やなわとびの強化旬間を設けて、児童の体力向上を目指す。

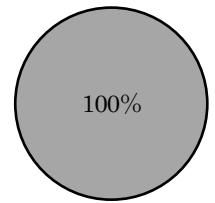
職員の自己評価；強化旬間に於いて記録更新のための働きかけを行った職員の割合



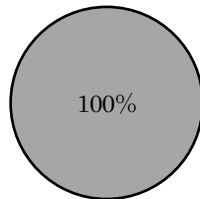
保護者アンケート；「お子様は持久走やなわとび旬間で努力していた」と回答した保護者が80%以上の学級



保護者アンケート；「お子様は栄小のよい子のきまりを守っている」と回答した保護者が80%以上の学級



児童の自己評価；「持久走やなわとび旬間で、記録を伸ばそうと努力した」と回答した児童が70%以上の学級

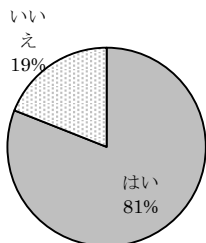


覚えていますか？「栄小のよい子の生活」
毎年4月にお手紙を配布しています。いくつかご紹介しますのでたまに、ご家庭で話題にしてみてください。

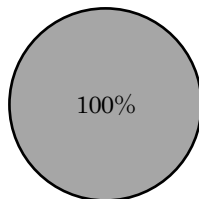
- おうちの方、友達、交通擁護の方、先生、近所の方には、気持ちの良いあいさつをします。
- 持ち物には、学年、組、名前を書きます。
- 晴れた日には、外で元気に遊びます。
- はっきりと丁寧な言葉づかいで話します。
- 自分の物、友達の物、学校の物を大切にします。

経営目標8 養護教諭や栄養職員と連携した保健指導・食育を実施する。

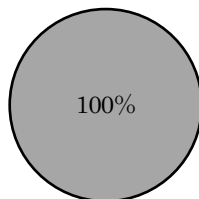
職員の自己評価；養護教諭や栄養職員と連携した保健指導・食育を年3回以上実施した職員の割合



児童の自己評価；前より怪我や病気にならないように気を付けるようになったと回答した児童が70%以上の学級



保護者アンケート；「お子様は怪我や病気を防ぐという意識が高まっている」と回答した保護者が80%以上の学級



〈養護教諭より〉

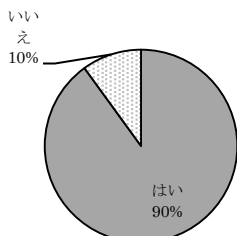
前よりもけがや病気にならないように意識して生活しているという結果でした。学校では計測時や健康診断前などの保健指導、保健の授業、ランチルーム使用時や生活科や学級指導での食育指導を行いました。意欲的な態度から関心の高さが伝わってきました。今後もわかりやすく、行動につながる指導を目指していきます。また、各クラスで日常的に行う保健食育指導関連の資料提供や保健や生活科等の授業について連携を深めていきます。

健康は一生の宝です。「学校だけでは足りないこと」「ご家庭だけでは教えられないこと」がたくさんあります。特に健康や命に関しては学校とご家庭が連携して児童に関わる必要を感じます。

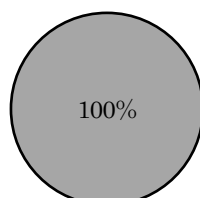
経営方針4 教育環境の充実

経営目標9 安全・人権・美化の観点で教育環境を整え、児童の安全を管理する。

職員の自己評価；安全・人権・美化の視点で、1週間に1回以上環境を整えていると回答した職員の割合

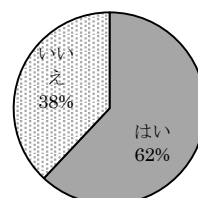


児童の自己評価；栄小のよい子の生活を守り、安全に気を付けて生活していると回答した児童が70%以上の学級

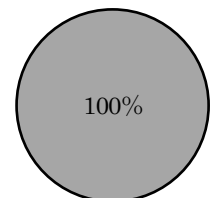


経営目標10 挨拶について指導し、他者と関係が作れるようにする。

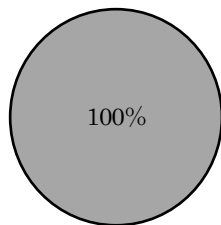
職員の自己評価；挨拶の指導について工夫した取り組みを行った職員の割合



児童の自己評価；進んで挨拶をしていると回答した児童が70%以上の学級



保護者アンケート；「お子様は挨拶を積極的にしている」と回答した保護者が80%以上いる学級



〈生活指導主任より〉

経営目標6 職員、保護者とも自己評価が高く、児童のよいところを捉え、肯定的な言葉かけを常に意識していることが分かります。今回、「自分にはよいところがある」と回答した児童の割合も高く、大人の言葉かけが児童に伝わっていることを嬉しく感じます。これからも、他者と比べるのではなく、ありのままの自分を大切にできる言葉かけを続けていきたいです。

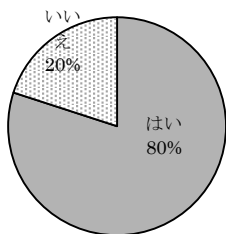
経営目標9 「栄小のよい子の生活」を守ることに、児童・保護者とも高い評価になっています。特に登下校の約束については、ご家庭のご協力が多く安全に登下校できるよう声をかけていただいていることが表れています。今後、更に学校生活の中での約束について、ご家庭と更に連携していきたいです。

経営目標10 育成会さかえの方々、児童会が門に立ち、あいさつを呼びかけ、また、学年ごとにあいさつ運動の取り組みを考え、実施したことが大きな意識づけになりました。職員の自己評価が低いのは、児童会などが中心になり、児童の自主的な活動が増えたためと考えられます。あいさつが児童の日常的な姿になるよう、引き続き働きかけていきます。

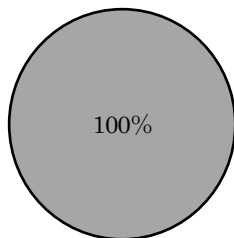
経営方針5 協働関係の強化

経営目標11 保護者・地域人材を活用した授業を実施して、地域・保護者との協働意識を高める。

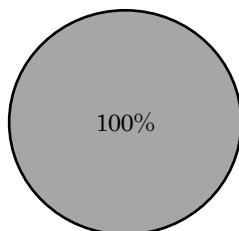
職員の自己評価；保護者・地域人材を活用した授業を年3回以上実施した職員の割合



児童の自己評価；いろいろなところのかかわりの中で学習していると感じている児童が70%以上いる学級

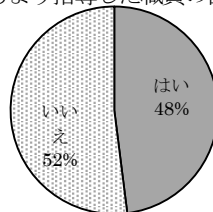


保護者アンケート；「学校は、保護者や地域との関わりを大事に授業を展開している」と回答した保護者が80%以上いる学級

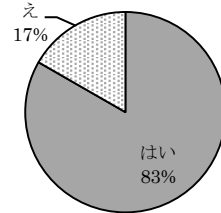


経営目標12 地域の行事に参加するように指導する。

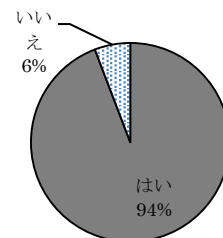
職員の自己評価；月に1回程度、学校や地域の行事に積極的に参加するよう指導した職員の割合



児童の自己評価；学校や地域の行事に積極的に参加していると回答した児童が80%以上いる学級



保護者アンケート；「ご家庭では、学校や地域の行事に積極的に参加している」と回答した保護者が80%以上いる学級



〈経営支援主幹より〉

経営目標11・12；いずれの項目も児童、保護者の評価が10月実施のアンケートより上がっています。日頃よりたくさんの地域の方々や保護者の皆様にご協力いただいた結果です。職員の意識をより一層上げていきます。これからもよろしくお願ひします。

【学校長より】

今年度、各ご家庭からのアンケート回収率は80%でした。ご多用の中、回答にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。新学習指導要領の理念の一つに「社会に開かれた教育課程」があります。教育活動は、学校だけで完結するものではなく、学校教育・家庭教育・地域教育が三位一体となっていくものです。学校の教育目標や教育課程などの取組を、保護者・地域の皆様と共有して実践することが大切であるという考え方です。

これを受けて本校では、アンケートの各設問は、児童・保護者・教職員の3者に対して、同じ意図の問いになるように設定しています。このようにすることで、より広い視野で教育実践が見取れるようになると共に、より大きな教育効果が期待できると考えたからです。

今回の児童・保護者の評価結果は、肯定的評価が100%の項目が12項目中10項目となりました。昨年度同時期の学校評価と比べましても、肯定的評価が大きく伸びました。これまでの取組や努力の成果が表れ、大変嬉しく思っております。これもひとえに保護者・地域の皆様が、本校の教育活動に対し協同・協働してくださいましたおかげです。

今回のアンケート結果を今後の教育活動に生かし、これからも「児童の笑顔が輝き活力のある学校」を目指してまいります。